

教育を崩壊させてなるものか」

(263号 1998. 6)

はじめに

ほぼ2年間にわたって学校教育を巡るただならぬ状況について考えてきた。今日は私たちが毎日働いている現場の実態を点検しながら、もし私たちの学級が、ともに働いている同僚の学級がそのような状況に陥った時、どのようにすべきなのかという、よりよい解決の方向性を探り出せるような話し合いをしたい。

1年生って本当に「ピカピカ」なん？

- K. 1年生ってみんなすごくかわいって言うし、私も1度は持ちたいなと思っていたので、自分で希望したんです。ところが初日からもう大変…。とにかくじっとできない。こつちを注意したらあっちが…、といたちごっこ…。走り回るは、大きな声で叫ぶは、もう初日でグロッキーでした。
- O. え一つ。それで今は少しは落ちついたん？
- K. 一手大変な子は教室に入らないんです。毎日学校にきたら、職員室に行って、そのままずっと…。っていう繰り返しです。無理に入れると、「くそパパー、ブタゴリラー！」つて暴れたりしてほかの子に関わってられないんです。
- N. それで、職員室で何してるの？
- K. 校長先生や教頭先生に遊んでもらってるんです。
- N. それって、絶対よくないね。自分の好き勝手なことをしても許されるんだと思ってしまいうし、友達との関わりも全然持てない…。管理職はなんて言うてんの？K. 1年生はあなたの希望だったんだから大変だけど頑張ってください…。
- N. 何それ。何の解決にもなれへんやん。

親や教師の愛情ってとっても大切

- Ya. 様子見にわざと言って困らせてみたりする事って幼稚園ではいっぱいある。子どもって友達や先生との遊びや約束を通していろんな事を学んで行くんだけど、そのところがスッポリと抜け落ちてるみたいやね。
- K. 保育所の先生に聞いたら、言ってもなかなか聞かないので、突き放す指導をしてきたって…。
- N. でもそのことってその子にとったらすごい寂しいことちゃうかなあ。
- K. ほっといたら寂しいから帰ってきて一緒にしてたって…。でも今は言って帰ってこない。
- Ya. なんかすごい愛情不足って感じがするけど、どうなん？
- K. 「おうちで学校のこととか話しますか」って聞いたら、「しません」「一緒にテレビ見たりしますか」つて聞いたら、「そんな時間ありません」つて。
- N. 高学年でも膝の上に乗せて話したりするとすごく納得することがある。きっと安心するんやろうね。思いつきりかわいがって、思いつきり抱きしめて、それしかないような気がするなあ。
- Yo. 親の接し方って本当に大切だと思うんです。親にあまりかまってもらってない子つて精神的にすごい不安定やし、だっこしてもらったり、手をつないでもらったりした経験の少ない子は、だっこされるのや手をつながれるのをすごくいやがったりするんですよ。
- N. 逆に、親に上手に関わってもらってる子は精神的に余裕があるって言うか、安定している。
- Ya. そうそう。親や教師を本当に信頼してるって感じがするね。
- O. はじめから深刻な話になったけど、1年生からこういうことが起きるんだから事は担任だけの問題じゃない。今は平和な自分のクラスもいつそうなるかもわからないと考えるべきやと思うねん。荒れてるクラスを持つてる担任が一番しんどいねん。学年として、学校として物理的にも精神的にもその担任を援助していくという視点が大切やうかなあ。そやないとその担任はもう病気になるか、やめるしかなくなってしまう。

(急きょ、学習会に)

資料：黒井さんの友人である三上さんの「学級建て直しのプログラム」 【その中の一部を勝手に抜粋】

☆学校全体ですること

- ①荒れた学級の担任が休職するのは職場の責任。
- ②「担任の指導力のなさ」の問題だとして担任を責めない。
- ③「クラスの荒れ」について、職場で話せる雰囲気をつくる。
- ④今の子どもや親についての共通理解を持つ。
- ⑤指導の悪さを子どもの前で言外でも言わない。
- ⑥学年主任などが担任を超えて指導しない。
- ⑦学級事務、学校事務など、肩代わりできるものはする。
- ⑧行事を減らす。
- ⑨時間割を見直す。
- ⑩コーヒータイムをつくる。
- ⑪月案や週案の提出を免除する。
- ⑫兄弟学級を組む。
- ⑬教室備品の修理と整備を優先的に行う。

☆管理職がすること・しないこと

- ①担任を超えて指導しない。
- ②管理職は児童朝礼などで怒らない、どならない。
- ③担任の校務分掌などの軽減をはかる。
- ④管理職に提出すべき書類を、「荒れた学級」の担任にあらた求めたりしない。
- ⑤月行事の変更も柔軟に行う。(授業参観など)
- ⑥評価をつけないことも認める。
- ⑦外部と関係する行事(子どもの行事・教師の出張など)に、無理に参加を求めない。
- ⑧管理職が学校をあけないようにする。
- ⑨教具はもとより、校務具さん、調理員さん、警備員さん、学童保育の指導員さんなど。学校関係者に協力を求める。
- ⑩PTA役員・学級委員などにも理解と協力が得られるように、学校の姿勢と方針をやわらかく話しておく。
- ⑪「荒れた学級」の担任より先に帰らない。

(誌面の都合で項目のみになってしまいました。よくわからないところもあると思います。「子どもと教育」5月臨時増刊号『教育崩壊』をぜひ)

もっと自分のこととして考えよう

- T. 本当にみんなで支えていくという体制づくりが大切やおもうわ。Kさんは学級のことを学年の人に話したりしてるの？
- K. 話しはするんですが隣のクラスも喧嘩は絶えないわ、万引きはするわで大変なんです。二人で話しても見通しが出てこず、なんか暗くなってくるばかりで…。
- Ya. まだ2ヶ月やのに、そんなんやったら2人とも病気になってしまうで。話聞いてたらなんか人ごと違うなあって思えてきた。私もクラスのこと周りの人にどんどん話していくようにしよう。Kさんも学年以外の人にもどんどん援助してもらおうようにしいや。
- M. 実際のところ「学級が荒れだした」先生にはなんか同情だけしてるみたいで声かけにくいなあって思ってたんですけど、それってよくないことだったんですね。話さないんじやなくて、話せない…。
- T. そのところを理解して、まわりから応援していくことが大切やねんなあ。
- N. そしてもう一つ大切なことは、管理職にきちんとした対応をさせることやね。こんな時こそ管理職としての真価が問われてるんやから。

座談会の内容は多岐にわたったため、司会者の方で内容を絞らせてもらいました。あしからず。